

令和5年度（2024年3月期）  
**事業計画書**

（2023年4月1日から、2024年3月31日まで）

令和5年度（2023年4月1日から2024年3月31日まで）の主要事業計画を下記の通り策定し、推進を図ることとします。

記

1. 公益事業支出： 予算 11,663 千円

（2023年3月期通期見込比 <以下「2022年度比」> +1,148千円）

令和5年（2023年）度の公益事業は、機関誌『タイ国情報』の発行、書籍刊行、講演会開催、日本語書籍寄贈、図書館運営の5事業を実施し、これら公益事業への支出を合計 11,663 千円（2022年度比 +1,148千円）とする計画です。個別の事業計画は、以下の通りです。

（1）機関誌『タイ国情報』の発行： 予算 5,403千円（2022年度比+329千円）

① タイ中央銀行（BOT）は、2022年のGDP

成長率予測について、+3.2%と予想（12月時点）しています。国内消費と外国人観光客の回復が後押しし、2023年および2024年については、それぞれ同+3.7%、同+3.9%になると予測しています。不安定な世界経済見通しから輸出動向が不確定要因です。2022年のインフレ率は前年比+6.3%を記録しましたが、2023年+3.0%、2024年は+2.1%と落ち着きを取り戻す見込みです。

② タイの政治は今年5月迄に実施が予定されている総選挙を睨んだ動きが目立ちました。2022年5月のバンコク都知事選では、タクシン元首相派インラク政権で運輸相を務めた、チャチャート氏が無所属で出馬し圧勝しました。都知事選及び同時に実施された都議選（定数50）で、国政与党陣営が大敗を喫しました。2023年1月、プラユット首相は、側近らが設立した新党ルウムタイサーンチャート党に参加することを発表、総選挙では同党から首相を目指すと思われま

年度	平均ページ数	直接費用（千円）
2012年度	151	4,071
2013年度	149	3,829
2014年度	156	4,148
2015年度	165	4,362
2016年度	136	3,590
2017年度	119	3,672
2018年度	131	3,767
2019年度	130	3,913
2020年度	120	2,700
2021年度	125	3,155
2022年度	135	3,401
2023年度	135	3,500

（注）直接費用 = 印刷製本費 + 諸謝金 + 通信運搬費  
22年度は着見通し、23年度は予想

- ③ 社会面では、昨年6月、大麻の栽培が合法化されたことが大きく報道されました。使用は医療目的に限定されていますが、娯楽での使用より中毒患者が増加し、社会問題化しています。
- ④ 2022年度はタイの仏教、タイの現代文学、タイにおける日本のポップカルチャー等、最近取り上げてこなかったテーマで研究者に執筆いただきました。また、大倉集古館での企画展開催に伴い、同館所有のタイの美術品に関して、寄稿を賜りました。2023年度も、タイの政治、経済、社会から文化、生活に至るまで、幅広い内容を探り上げ、読者のニーズに応えられるよう、記事の質の向上を目指します。新たなテーマ、執筆者の発掘を継続します。
- ⑤ 引き続き、研究活動において参照される機会が増加するよう、大学などの研究室・研究機関へ納本（合計150カ所程度）して参りました。書店を通じて、一般の方々への有料配布も継続して参ります。

(2) 書籍刊行事業： 予算 940千円 (2022年度比 +270千円)

2022年度の書籍刊行実績はありませんでした。書籍刊行直接費用として今期も300千円を計上します。一方、茲許、東南アジア関連の出版社により刊行するケースが太宗であることから、今後、当協会が出版元となる刊行事業の継続については見直しを行う状況にあります。赤木先生のタイ日辞典出版についても、めこんより出版されるため、当協会の支援については、その他の事業支出に計上します。

(3) 講演会・セミナー事業： 予算 1,394千円 (2022年度比+134千円)

2022年度は、以下の内容で計4回の講演会を開催しました。

2022年4月11日(月)

青山学院大学 総合文化政策学部助教

石川 ルジラット 氏

【講演テーマ】「タイにおける日本のポップカルチャー：過去と現在」

2022年7月14日(木)

桃山学院大学 経済学部教授

江川 暁夫 氏

【講演テーマ】「タイ経済の現状と先行き」

2022年10月4日(火)

タイ文学研究者・翻訳者。

福富 渉 氏

【講演テーマ】「タイ現代文学入門 ～物語と書店から見るタイ社会～」

2023年1月26日(木)

亜細亜大学 アジア研究所 教授

大泉 啓一郎 氏

【講演テーマ】「人口動態が語るタイ経済社会の現在位置と未来」

2023年度も、タイの政治・経済・社会・文化に関するタイムリーなテーマにて、4～5回開催する予定です。

(4) 日本語書籍寄贈事業： 予算 1,485 千円 (2022年度比 +408 千円)

2022年度は、コロナ禍でタイへの渡航はかないませんでした。前年から現地の国際交流基金バンコク日本文化センターから、日本語パートナーズ教員が派遣されているタイ各地の学校48校に日本語書籍を寄贈しました。

本事業は、皆さまのご支援により開始から12回目を数えるに至っています。2023年度につきましては、引き続き、現地からのお声をふまえて実施する計画です。また、タイ日辞典の、寄贈も視野に入れる所存です。

(5) 図書館運営事業： 予算 2,223 千円 (2022年度比 +97 千円)

当協会図書館は、2008年4月に戦前からの古い蔵書を含め、約500冊でスタートし、協会役員や会員、一般の方などからの多数のご寄贈、書籍の購入などにより、2018年12月末には約5,800冊の規模でしたが、事務所の移転を契機に、タイに関係のない書籍や痛んだ書籍の整理を進め、2022年12月末時点では約3,400冊になりました。研究者の方が、資料の相談のため来訪されています。2023年度は新刊本の購入などにより引き続き内容を充実させる予定ですが、所蔵スペースに限りがあることから、内容は厳選して対応する方針です。

(6) 公益共通： 予算 219 千円 (2022年度比 ▲90 千円)

引き続きホームページを通じ、当協会の活動状況、『タイ国情報』の目次、講演会・セミナーの案内、日本語書籍寄贈事業の実施報告、図書館所蔵書籍リストなどを提供して参ります。

2. その他事業支出： 予算 2,539 千円 (2022年度比 +2,312 千円)

(1) 親睦行事： 予算 2,539 千円 (2022年度比 +2,312 千円)

2023年度は、コロナ禍の終息が前提となりますが、タイ王国大使館と共催している「納涼の夕べ」について予算計上します。費用の観点から、過去実績を参考に500千円(2019年度実績414千円)で計画しています。

また、大阪外国語大学名誉教授の赤木先生が手掛けるタイ日辞典に関して、出版時には日本国内およびタイの大学、研究機関等に寄贈すべく計画していますが(1,680千円/60冊)、2023年3月末までに出版できたとしても、寄贈手続きにある程度の時間を要することが予想され、2024年度(令和5年度)に持ち越して支出する方針です。

3. 管理費（法人会計）：予算 3,704 千円 （2022 年度比 +228 千円）

派遣職員給与について、人材派遣会社より物価上昇反映のため、2023 年度に 3%程度の時給増加要請あり。同条件を反映の上、予算を作成した。

4. 収支予算について

(1) 経常収益： 予算 15,030 千円 （2022 年度比 ▲277 千円）

昨年比ほぼ横ばいの計画とします。

引き続き経常収益の 90%以上を受取会費で賄う計画です。2023 年 1 月末現在の会員数は、法人会員 94 社（2022 年 3 月末比▲1 社）、個人会員 100 名（同 ▲2 名）となっています。引き続き会員の勧誘に注力して参ります。経常収益は、法人会員について、2022 年度まで会費納入後退会された会員分をマイナス勘案後、横ばいとして計画しております。個人会員につきましては、こちらも会員数はほぼ横ばい計画としております。

(2) 経常費用： 予算 17,907 千円 （2022 年度比 +3,688 千円）

過去 3 年、コロナ禍で活動が制限されたため、コロナ前をベースに、タイ国情報の充実、日本語書籍寄贈に伴うタイへの渡航調査等を積極的に上乘せした計画とします。

公益事業支出は 11,663 千円（2021 年度比+1,148 千円）、その他事業支出は 2,539 千円（同 +2,312 千円）、管理費支出（法人会計）は 3,704 千円（同 +228 千円）と、経常費用全体で 17,907 千円（同 +3,688 千円）とする計画です。従って、2023 年度の当期経常増減額は▲2,876 円と支出超の計画です。

5. 財務会計に関する数値基準について

(1) 収支相償

- ① 公益目的事業の収支相償： 基準を充足する計画です。
- ② 公益目的事業会計全体の収支相償： 基準を充足する計画です。

(2) 公益目的事業比率： <2023 年度計画> 65.1%（2022 年度比▲8.8ポイント）

基準（50%以上）を充足するよう、引き続き、高い公益意識をもって、事業の運営を行なう所存です。

(3) 遊休財産上限額

コロナ禍で事業が計画通り実施できず、前期、遊休財産（預金）が上限額を超えておりますが、着実に事業を実施し、遊休財産<遊休財産上限額（=公益目的事業費相当額）となるよう運営する所存です。

以上

令和5年度(2024年3月期) 収支予算書

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

<A>

<B>

<C>

[単位:円]

科 目	令和5年度 予算	令和4年度 実績見込	差異 <A-B>	令和4年度 予算	差異 <A-C>	備考
1 I 一般正味財産増減の部						
2 1. 経常増減の部						
3 (1) 経常収益						
4 ①基本財産運用益	380	380	0	1,300	▲ 920	
5 基本財産受取利息	380	380	0	1,300	▲ 920	
6 ②受取会費	14,810,000	15,030,000	▲ 220,000	15,020,000	▲ 210,000	
7 賛助会員受取会費	14,810,000	15,030,000	▲ 220,000	15,020,000	▲ 210,000	減額、退会分
8 ③事業収益	50,000	48,500	1,500	100,000	▲ 50,000	
9 機関誌発行・書籍発行事業	50,000	48,500	1,500	100,000	▲ 50,000	前期並みのタイ国情報販売を予想
10 講演会・セミナー事業	0	0	0	0	0	
11 図書館運営事業、他	0	0	0	0	0	
12 ④雑収益	200	193	7	350	▲ 150	
13 雑収入	0	0	0	0	0	
14 受取利息	200	193	7	350	▲ 150	
15 ⑤受取寄附金	170,000	229,340	▲ 59,340	399,340	▲ 229,340	
16 指定正味財産からの振替	170,000	229,340	▲ 59,340	399,340	▲ 229,340	
17 経常収益計	15,030,580	15,308,413	▲ 277,833	15,520,990	▲ 490,410	
18 (2) 経常費用						
19 <公益事業>	11,663,140	10,515,601	1,147,539	11,510,760	152,380	
20 機関誌発行・復刻事業/公1	5,403,377	5,074,422	328,955	5,361,104	42,273	
21 書籍刊行事業/公2	939,755	669,393	270,362	926,438	13,317	
22 講演会・セミナー事業/公3	1,393,837	1,259,810	134,027	1,340,053	53,784	
23 日本語書籍寄贈事業/公4	1,484,955	1,077,079	407,876	1,471,638	13,317	
24 図書館運営事業/公5	2,222,716	2,126,213	96,503	2,193,028	29,688	
25 公益事業共通	218,500	308,684	▲ 90,184	218,500	0	
26						
27 <その他事業>	2,539,649	227,021	2,312,628	2,604,766	▲ 65,117	
28 親睦事業	2,539,649	227,021	2,312,628	2,604,766	▲ 65,117	
29						
30 <法人会計(管理費)>	3,704,471	3,476,243	228,228	3,627,844	76,627	
31						
32 経常費用計	17,907,260	14,218,865	3,688,395	17,743,370	163,890	
33 評価損益等計	0	0	0	0	0	
34 当期経常増減額	▲ 2,876,680	1,089,548	▲ 3,966,228	▲ 2,222,380	▲ 654,300	
35 2. 経常外増減の部			0		0	
36 (1) 経常外収益	0	0	0	0	0	
37 資産評価益	0	0	0	0	0	
38 (2) 経常外費用	0	0	0	0	0	
39 資産除却損	0	0	0	0	0	
40 当期経常外増減額	0	0	0	0	0	
41 当期一般正味財産増減額	▲ 2,876,680	1,089,548	▲ 3,966,228	▲ 2,222,380	▲ 654,300	
42 一般正味財産期首残高	40,197,985	39,108,437	1,089,548	39,140,056	1,057,929	
43 一般正味財産期末残高	37,321,305	40,197,985	▲ 2,876,680	36,917,676	403,629	
44 II 指定正味財産増減の部			0		0	
45 使途指定特別寄附金	170,000	399,340	▲ 229,340	399,340	▲ 229,340	
46 一般正味財産への振替額	170,000	229,340	▲ 59,340	399,340	▲ 229,340	
47 当期指定正味財産増減額	▲ 170,000	▲ 229,340	59,340	▲ 399,340	229,340	
48 指定正味財産期首残高	170,000	399,340	▲ 229,340	399,340	▲ 229,340	
49 指定正味財産期末残高	0	170,000	▲ 170,000	0	0	
50 III 正味財産期末残高	37,321,305	40,367,985	▲ 3,046,680	36,917,676	403,629	

令和5年度(2024年3月期)収支予算書(事業別内訳表)

(2023年4月1日 から 2024年3月31日まで)

公益財団法人日本サイボウ  
【単位:円】

科目	公益目的事業										法人会計 (管理費)	合計	(B) 6年3月期通期実 績対比	(A-B) 差増 算	5年3月期通期予 算	(A-C) 差増 算	
	公益(機関費)	公益(刊行)	公益(講演会)	公益(寄贈)	公益(図書誌)	公益共通	公益小計	その他事業	その他小計								
1 一般正味財産増減の部																	
2 繰当増減の部																	
3 (1) 繰当増益																	
4 ①基本財産運用益																	
5 基本財産受取利息																	
6 ②受取会費																	
7 ③扶養受取																	
8 ④扶養受取																	
9 機関助成・寄附金																	
10 寄附金・セミナー事業																	
11 ④雑収入																	
12 雑収入																	
13 受取利息																	
14 ⑥受取寄附金																	
15 受取利息																	
16 ⑦指定正味財産からの取替額																	
17 繰当増減																	
18 (2) 繰当費用																	
19 印刷製本費																	
20 寄附刊行費																	
21 刊行物購入費																	
22 謝礼金																	
23 通信運搬費																	
24 旅費																	
25 消耗品費																	
26 パーティ費																	
27 会議費																	
28 会費																	
29 大規模行事開催費																	
30 雑支出																	
31 臨時支出																	
32 支払手数料																	
33 貸借料																	
34 光熱水料費																	
35 租税																	
36 消通費																	
37 消耗什器備品費																	
38 減価償却費																	
39 役員報酬																	
40 給与・賞与																	
41 補助手当																	
42 社会保険料																	
43 福利厚生費																	
44 経常費用計																	
45 経常増減等計																	
46 当期経常増減額																	
47 (1) 経常外増減																	
48 ①経常外増益																	
49 資産評価益																	
50 管理除却益																	
51 当期経常外増減額																	
52 当期一般正味財産増減額																	
53 一般正味財産増減																	
54 一般正味財産増減																	
55 一般正味財産増減																	
56 ⑦指定正味財産増減の部																	
57 指定正味財産増減																	
58 一般正味財産への取替額																	
59 当期指定正味財産増減																	
60 指定正味財産増減																	
61 指定正味財産増減																	
62 ⑧正味財産増減																	

合計	17,907,260	▲ 2,876,680	▲ 1,089,548	▲ 3,966,228	▲ 2,222,380	▲ 2,876,680	▲ 2,876,680	▲ 2,876,680	▲ 2,876,680	▲ 2,876,680	▲ 2,876,680	▲ 2,876,680	▲ 2,876,680	▲ 2,876,680	▲ 2,876,680	▲ 2,876,680	▲ 2,876,680
経常費用計	17,907,260																
期末正味財産	11,663,140																
期末正味財産	65,13%																

令和 5 年度（2024 年 3 月期）

資金調達及び設備投資の見込みについて

（2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで）

1. 資金調達の見込みについて

当期中における資金調達の予定はありません。

2. 設備投資の見込みについて

当期中における設備投資の見込みはありません。

以上